

## クラスの様子【11月号】

●ひよこ・りす組 **今月の目標** 身近な友達に関心を持ち、関わりを楽しむ。身の回りのことを自分の力でやろうとする。

天気の良い日には、秋探しのお散歩や、戸外遊びを楽しみました。

お散歩では、空を見上げ飛行機やヘリコプター、日中に見える“月”を見つけたり、みかんにきんかん、柿、栗、どんぐりに触れたり、色の変化を楽しみながら進みました。色や物の名前を自分なりに表現できる子も増え、お話をしている子の側で真似している子もいました。

西の広場では、芝生の山を駆け上がったたり、降りたりすることや、砂場でごちそう作りに集中して遊ぶ姿もありました。ひよこぐみの子、りすぐみの子が、一緒に遊び、楽しい時間を共有する場面もあり、刺激を受けあっているのを感じます。これからも様々な月齢の子がまざったグループに分かれ、ゆったりと楽しい時間を共有していければと思います。また、戸外での活動により、帽子を被ったり、靴を履く（脱ぐ）という機会も増え、自分でしようしたり、手伝ってあげようとする姿があります。一人ひとりの“自分でしたい”という気持ち、他者との関わりを大切にしていけるといいなと思います。

11月には新しいお友達が4人増えます。体調に気をつけながら過ごしていきたいと思っています。（伊達）



●うさぎ組 **今月の目標** 戸外でたくさん身体を動かしたり、自然物に触れながら感覚の働きを豊かにする。

10月にはうんどうかいもあり、サーキットあそびを通して平均台やカラーボックスなどに挑戦をしました。平均台は1本の細い方、2本繋げた太い方を並べることで難しい方にするか簡単な方にするかを自分で考えて選び、渡るときにも手を持たず1人で渡る、少し手伝ってもらうなどそれぞれ自分なりに取り組むことができていました。カラーボックスでも台はなしでよじ登る、台を使って階段のように登るなどそれぞれで、うんどうかいを通して保護者の皆様にも一人ひとり運動面の発達・成長を感じてもらえたのではないかと思います。また、友だちと一緒にする楽しさを感じ仲間意識を持つことで、順番を待つということもできるようになってきました。

日々の保育の中でもおもちゃの貸し借りで待ったり、並ぶときの順番の譲り合いも見られます。言葉のやり取りも増え、「おはよう」「ありがとう」などしっかり挨拶もできていてすごいなと感じています。

過ごしやすい気温の中、たくさんお散歩にも行くことができ、お散歩バッグやとんぼのめがねなど持って楽しむこともできています。お散歩に行く前に自分でどっちを持っていきたいか選択するようにもなりました。秋の自然に触れ、木の実や植物などもたくさんあり、拾ってきたものをしっかり袋に入れるという習慣もできています。これからもたくさん戸外での活動を楽しむことができればと思います。（平塚）



## クラスの様子【11月号】

●A・Bグループ **今月の目標** 季節の移り変わりを感じながら、生活をする。

10月は芋掘りに運動会、年長組のバス遠足・・・とたくさんの行事がありました。4日に年長組が園の畑で芋掘りをし、5日と6日には地域の方のご厚意でA・Bクラスがそれぞれ芋掘りを体験しました。先に経験していた年長児はどンドン土を掻き分け、埋まっている芋を迷いなく掘る姿があり、とても上手でした。また、年少・年中のみんなは遠慮気味に土を掘っていましたが、芋が見えてくると大興奮で「お芋やー!」、「あ～、なかなか出てこやん。」と言いながら少しずつ芋が土の中から出てくるのを喜んでいました。芋が掘れると「とれたー!!」、「これ僕が掘ったんやで。」と誇らしげに見せ、とても良い笑顔。自分で掘ってお家で調理してもらったお芋は特別おいしかった事でしょう。芋掘りを通して、食べ物がどんなふうに見えるかを知る経験になりました。また、当日まで楽しみに待ち、とれた喜びをみんなで感じ、とった後もおいしく食べ・・・とその期間にみんなでたくさんの幸せを感じながら過ごすことができました。ご協力ありがとうございました。(キム)



●ライオン組 **今月の目標** 季節の移り変わりを感じながら、生活をする。

運動会が終わりお出かけの日が近くなるにつれて「あと〇回寝たらお出かけやな!」とカウントダウンする子、館内図を見てどんな生き物がいるのか探してみる子、園でしおりの色塗りをする子など様々で、子どもたちの中でも水族館に関する話が増え始め期待を膨らませて当日を迎えました。お出かけ当日、登園してくる子どもたちの表情は期待に満ち溢れており、みんなとってもハイテンション。楽しすぎて早起きしてきた子、いつもより用意が早くお母さんを驚かせた子、、、保護者の方からお話を聞くだけで子どもたちの期待の大きさが感じられ、ライオンさんみんなが無事にお出かけに行けたこと、とても嬉しく思います。入館すると目の前に見えるイルカに大興奮の子どもたち。気持ちの高ぶりがありながらも保育士にしっかりついてきて迷子になることもなく楽しむことができました。立ち上がって釘付けになったイルカショー、ニモやドリー、みんな大好きチンアナゴも見ることができ「かわいいな〜」「ジャンプすご!」とみんな常に口が開いていました。バスに乗ること、家族ではなく保育園のお友だちや先生とたくさんの人がいるところに行くこと、園外でマスクをしてみんなと過ごすこと、お家から持ってきたおにぎりやおやつをみんなとお腹いっぱい食べること、、、楽しいことばかりではなく不安や心配に思っていた子も中にはいたと思います。でも、帰園してきたときの子どもたちは聞くまでもなく“楽しかった”と言わんばかりの表情で、今回の経験が子どもたちにとってプラスになっていればいいなと思います。



今年のライオンさんの10月は芋掘り・運動会・お出かけと行事が目白押しで、行事が終わるたびに子どもたちに“楽しかったこと、頑張ったこと、思い出に残っていることを絵に描こう”と絵を描いてきました。自分の記憶に残っていることを絵に描く機会がなかったこと、絵を描くことを苦手と感じる子どもも多く、なかなか描きだせない子ども中には、芋掘りや運動会の時は周りの子の絵を見て真似してみたりお友だちと相談しながら描いている子もいました。そして今回水族館の絵を描くために画用紙を渡すと驚くほどに黙々と取りかかる子どもたち。絵が苦手だからとしおりを見ながら描いたり、「描くのが決まってるから明日描く!」という子もいました。それぞれが自分の頭にある水族館の一番の思い出や印象に残っている場所を描いており、それほど子どもたちの中に深く刻まれた思い出になったんだと嬉しくなりました。全員が描き終えたら保護者の方に見ただけのように飾りますので、もう少しお待ちくださいね。初めてのバスに乗ってのお出かけ、無事何事もなく帰ってこれたことに安心するとともにライオンさんと過ごす時間が残り5ヶ月しかない現実寂しくなってきました。残りの5ヶ月、子どもたちにはたくさんのことを経験して胸を張って卒園してもらえよう取り組んでいきたいと思っています。10月はたくさんのご協力、ありがとうございました。(倉田)

